

登録日	2008.11.12
再登録日	2014.12.04

がん化学療法レジメン登録書

登録番号：08-021

がん種/レジメン名				実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類					
切除不能な進行・再発非小細胞肺癌 タキソテール療法				点滴静注	日常診療（治療）	進行・再発・転移癌					
						1st、2nd、3rd、4th					
1クール/投与期間				21日/クール				備考（最大投与回数等）			
Day	投与順	薬品名（成分名）	投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート				
1	1	デカドロン	6.6	mg	生理食塩液 50mL	15min	Div.				
	2	タキソテール	60	mg/m ²	生理食塩液 250mL	60min ^{*1}	Div.				
	3				生理食塩液 50mL	5min	Div.				

※1 タキソテール投与時はDEHPフリールートを使用すること

【投与開始基準】※タキソテール適正使用ガイドより 【投与量の減量基準】※タキソテール適正使用ガイドより

項目	基準値及び症状
白血球	≧4000/ μ L
好中球	≧2000/ μ L
血小板	≧100000/ μ L
ヘモグロビン	≧8.0g/dL
AST 又は ALT	<ULN×1.5
T-Bil	<1.5mg/dL
クレアチニン	<1.5mg/dL
Ccr	≧60mL/min 以上
心電図	異常なし
間質性肺炎・肺線維症	なし
アルコール過敏	なし(ある場合はアルコールフリー調製を指示)
PS	0～2

タキソテール:明確な基準はないが、有害事象出現時は以下を参考に減量を検討すること			
項目	減量を考慮する値	タキソテール	
白血球数減少	≧Grade3	50mg/m ² (50mg/m ² 以下は休業)	
好中球減少			
血小板数減少			
白血球数(好中球を含む)及び血小板を除く有害事象			

【投与量の増量基準】

無し

【特に注意すべき副作用と対策】

白血球減少、好中球減少・・・症状に応じ、内服もしくは点滴静注にて抗生剤の投与、G-CFS 製剤の使用を考慮
(FN 診療ガイドライン、G-CFS 製剤使用についてのガイドラインに準じ対応)
ヘモグロビン減少・・・症状に応じ、輸血を考慮(血液製剤の使用指針に準じ対応)
血小板減少・・・症状に応じ、輸血を考慮(血小板輸血に関するガイドラインに準じ対応)
消化器障害・・・悪心嘔吐にはアプレピタントの処方追加検討。下痢には高用量ロペラミド療法検討
末梢神経障害・・・症状に応じ、減量や休業を検討

※当院作成の【外来化学療法施行患者における緊急時対応マニュアル】を参照すること